

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.468



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2015年1月28日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

横浜市2015年度予算案発表

アベノミクス下請け予算

林文子市長は1月28日、2015年度横浜市予算案を発表しました。

市税収入は7,095億円で、2014年度当初実収見込額に比べて1.4%減です。個人市民税は24億円の増ですが、法人市民税は税制改正

に伴う法人市民税の一部国税化の影響などで110億円の減です。固定資産税・都市計画税も土地の評価替えなどで10億円の減少です。市債は、14.9%増の1,608億円で。 (2面に続く)

2015年度予算の規模（前年度比）

一般会計	1兆4,955億円	(5.4%増)
特別会計	1兆3,947億円	(1.4%増)
公営企業会計	5,918億円	(18.0%減)
全会計総計	3兆4,820億円	(0.9%減)
(全会計純計)	2兆6,785億円	(0.5%増)

一般会計のうち	義務的経費	8,322億円	(3.1%増)
	施設等整備費	2,360億円	(28.6%増)

※高速横浜環状道路整備：340億円（78%増、1.49億円増）...

ちょっぴり前進、大きな心配

ちょっぴり前進

小児医療費助成が、今年10月から小学3年生までに拡大されます。また、未婚のひとり親に対する寡婦控除のみなし適用が、40事業について4月から適用されます。

かけ防災対策の推進費は5.1億円と、前年比4.5倍に増加しました。

大きな心配

新市庁舎整備を加速し、カジノ誘致を図る予算であるとともに、大型開発・都市基盤整備に偏っています。

なかでも横浜環状道路関連予算が前年度比149億円増の総額340億円で、前年度比で1.8倍、5年前の3.3倍と突出しています。

一方、生活道路の整備、中学校給食実施など市民の身近な要望のほとんどが置き去りのままです。

なぜアベノミクス下請け予算か

予算案は、昨年同様、安倍政権の進める国土強靱化や成長戦略を具体化するもので、まさに「アベノミクス下請け予算」です。

何でそんな予算案になってしまったのでしょうか。

林市長は、1期目は民主党の支持を受けていたのですが、2期目の市長選挙の時、自民党の推薦を受けたいがために、自民党に鞍替えしてしまいました。一昨年の市長選横浜駅西口での第一声で、市長はアベノミクスを持ち上げ、『大都市横浜はこの波に乗らなくてはいけない』と叫びました。それを実行に移したのが2015年度予算案です。まさに、林市政の自民党化が完成したことを示すのが、今回の予算案の最大の特徴です。

市政懇談会にお越しく下さい

1月28日から3月20日まで予算議会が開かれます。予算案をみなさんにお知らせするとともに、みなさんからのご意見ご要望をお聞きしたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時 2月4日(水)午後6時半～8時

場所 横浜市技能文化会館8階大研修室

お問い合わせ：電話 045-671-3032



寄稿

ちょっと法律の話とか

東京合同法律事務所 弁護士 馬奈木巖太郎

こんにちは。法律相談をしていると、「聞いていた話と違う内容になってる」、「契約書を後で読んだらびっくりする内容になってた」という相談を受けるときがあります。

お話を伺うと、相手の説明で納得したので、契約書をきちんと確認することなくサインして印鑑を押したとか、契約書が何枚もあったので相手に印鑑を預けて相手がばんばん押していったなんてことも。契約書にサインして印鑑を押すと、契約書に書かれてある内容で合意したと、通常は判断されることになります。

「こんなはずじゃなかった」とならないためにも、とくに金額が大きい場合や替えのきかないものの場合には、事前に弁護士に相談することをお勧めします。相手がその場でなんとなくとしても印鑑を押させようとして



ま な ぎ い ず た ろ う
馬奈木巖太郎 弁護士

東京合同法律事務所

生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟
弁護団事務局事務局長

大貫のり夫事務所無料法律相談担当

いるような場合には、とくに注意した方がよいでしょう。

弁護士は敷居が高いと感じられるかもしれませんが、無料の法律相談を行っていますし、法律のお医者さんくらいの気持ちで、どうかお気軽にご相談ください。

日本共産党青葉区後援会学習会のお知らせ

「私たちは戦後80年を
迎えられるだろうか」

憲法のことろ、平和の心を問う

日時：2月8日（木）午後2時から4時30分まで

場所：藤が丘地区センター1F 中会議室

お話：馬奈木巖太郎弁護士 主催：日本共産党青葉区後援会902-6540

日本共産党青葉区後援会学習会開催 脱原発・持続可能なエネルギー社会と情報技術

講演：野澤 博京都大学名誉教授

日本共産党青葉区後援会主催の学習会が25日、山内地区センターで、後援会の代表委員の野澤博京都大学名誉教授を講師に、35名の参加で行われました。テーマは「脱原発・持続可能なエネルギー社会と情報技術」。大学の授業時間を超えて90分間、しっかりと勉強しました。

講義内容は、地球環境問題・気候変動のメカニズム、原子燃料リサイクルと原発のリスク、求められる自然エネルギーや水素社会の発展と課題、究極のエネルギーといわれる核融合研究の現状と将来性、情報技術における省エネと半導体についてなどなど。

野澤先生は、環境問題を解決し循環型エネルギー社会を実現するためには、脱原発・脱石油を進め、化石燃料をバイオマスに置換する



講義をする野澤 博京大名誉教授
=25日、山内地区センター会議室

選択が必要と強調されました。

次回の学習会は「生業を返せ、地域を返せ」福島原発弁護団事務局長の馬奈木巖太郎(まなぎいずたろう)弁護士が講師です。テーマは「私たちは戦後80年を迎えられるだろうか」「憲法のところ、平和のところを問う」です。後援会員に限らずどなたでも参加できます。
※詳細は、3面をご覧ください。



ミジソコの独り言 世の中、けっこう猫ブーム。猫のもようやシルエットのグッズがちまたにあふれている。ある調査ではイヌ好き6割ネコ好き4割だそう。ネコ好きの高野明子元議員はマンション暮らしで猫が飼えない分、猫グッズを集めていたっけ。(M)

日本共産党は、カジノの合法化、横浜へのカジノ誘致に断固反対です